

授業 科目	LA1A03	2単位	選択	講義	1 学年前期	担当 教員	教授 松浦 信二				
	心理学										
授業の概要	① 心理学史と心理学方法論を学び、心理学の成立、心理学の方法論について理解する。 ② 知覚について学び、視覚、聴覚、身体から知る世界と注意の関わりについて理解する。 ③ 学習理論の基礎について学び、古典的条件づけ、オペラント条件づけ、社会的学習について理解する。 ④ 記憶の基本的仕組みについて学び、記憶のプロセス、短期記憶、長期記憶、エピソード記憶、意味記憶について理解する。 ⑤ 発達について学び、乳児期、児童期、青年期、成人期、中年期・更年期の発達について理解する。										
到達目標					学習成果Ⅰ		学習成果Ⅱ		学習成果Ⅲ		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1. 心理学の成立、心理学の前史、日本における心理学の誕生、20 世紀の心理学の展開、心理学の方法論について理解する。									○	◎	
2. 視覚系の仕組み、感覚系の仕組み、知覚のつながり、注意の働きについて理解する。						○			○		
3. 学習の基本的メカニズム、古典的条件づけ、オペラント条件づけ、社会的学習、行動療法、系統的脱感作について理解する。									○		◎
4. 記録のプロセス、短期記録、長期記録、エピソード記憶、意味記録について理解する。						○	○		○	◎	
5. 発達の初期段階、青年期の発達、成人期の発達、中年期・高年期の発達について理解する。							○			○	○
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照											
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習				
1	オリエンテーション 第1章「心理学史と心理学方法論」	シラバスの確認をする。 教科書 P2～P10 を読み、第1章の概要を理解しておく。	心理学の成立、心理学の前史、19 世紀における心理学の展開、日本における心理学の誕生、20 世紀の心理学の展開について理解する。				章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。				
2	第2章「知 覚」	教科書 P14～P24 を読み、第2章の概要を理解しておく。	知覚について学習し、視覚、聴覚、身体から知る世界と注意の関わりについて理解する				章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。				
3	第3章「学 習」	教科書 P40～P46 を読み、第3章の概要を理解しておく。	学習理論の基礎を学習し、学習の基本的メカニズム、古典的条件づけ、オペラント条件づけ、社会的学習、行動療法、系統的脱感作について理解する。				章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。				
4	第4章「記 憶」	教科書 P52～P63 を読み、第4章の概要を理解しておく。	記憶の基本的な仕組みについて学習し、記録のプロセス、短期記録、長期記録、エピソード記憶、意味記録について理解する。				章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。				
5	第5章「認 知」	教科書 P72～P86 を読み、第5章の概要を理解しておく。	認知について学習し、言語処理、言語獲得、失語症、思考の構成要素、問題解決について理解する。				章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。				
6	第6章「感 情」	教科書 P66～P70 を読み、第6章の概要を理解しておく。	感情の分類について学習し、一次感情、二次感情、感情と生理的・身体的な反応の関係について理解する。				章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。				
7	第7章「発 達」	教科書 P76～P86 を読み、第7章の概要を理解しておく。	発達の初期段階について学習し、乳児期から幼児期、幼児期から児童期への発達について理解する。				章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。				
8	第8章「発 達」	教科書 P90～P98 を読み、第8章の概要を理解しておく。	青年期、成人期、中年期・高齢期の発達について学習し、アイデンティティ、家族のライフサイクル、中高年における心身及び対人関係の変化について理解する。				章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。				
9	第9章「対人社会行動」	教科書 P104～P112 を読み、第9章の概要を理解しておく。	対人社会行動について学習し、対人印象形成、ステレオタイプ、恋愛関係の形成と崩壊、対人コミュニケーションについて理解する。				章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。				
10	第10章「グループダイナミクス」	教科書 P116～P125 を読み、第10章の概要を理解しておく。	グループダイナミクスについて学習し、他者と一緒に課題に関わること、複数の集団で課題に関わることについて理解する。				章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。				

11	第11章「性格」	教科書P140～P148を読み、第9章の概要を理解しておく。	性格の類型論について学習し、クレッチマーの体型論、ユングのタイプ論、キャッテルの特性論、アイゼンクの特性論、性格の測定について理解する。	章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。
12	第12章「臨床」	教科書P142～P153を読み、第9章の概要を理解しておく。	臨床心理学について学習し、臨床心理学の成り立ち、構造、カウンセリング、心理療法、精神医学との関係について理解する。	章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。
13	第13章「教育」	教科書P158～P165を読み、第10章の概要を理解しておく。	いじめ、不登校について学習し、いじめの実態と特徴、構造、原因、対応、不登校の実態と背景、不登校への対処について理解する。	章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。
14	第14章「ヒューマンエラー」	教科書P170～P178を読み、第14章の概要を理解しておく。	ヒューマンエラーのメカニズムについて学習し、ヒューマンエラーの基本的な判断や行為の仕組み、考え方について理解する。	章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。
15	第15章「犯罪・非行」	教科書P182～P193を読み、第15章の概要を理解しておく。	犯罪・非行の原因理解のための枠組みについて学習し、社会的要因、個人的要因、ポリグラフ検査、犯罪者プロファイリングについて理解する。	章末の設問に取り組み、学んだことを整理する。
成績評価	授業への取り組み (20%) 課題等の提出 (20%) 期末試験 (60%) 合計100%			
教員からのコメント	保育への時代のニーズはますます高まり、特に乳児保育における保育士の専門性の向上が求められている。このような社会的情勢のなかで、養護と教育を一体とした質の高い保育を実践していくためには、保育者は、心理学について理解を深める必要がある。そのためには、知覚、学習、記憶、認知、感情、発達、対人社会行動、性格、臨床心理学について学習し、心理学の基本的知識を得てもらいたい。			
教科書	書名 「心理学」 著者 越智 啓太 編 発行所 株式会社 樹村房	推薦図書	書名 「よくわかる 心理学」 著者 無藤 隆、森 敏昭、池上知子 発行所 ミネルヴァ書房	